

【オープニングアクト】

出演：甲府市立甲府商業高等学校ソングリーダー部



【主催者挨拶】

農林水産省 消費・安全局長 新井ゆたか

<概要>

第14回食育推進全国大会は開催地の山梨県および甲府市を共同開催者として、また、様々な形で食育推進に貢献されている全国の方々のご協力により、本日開催の運びとなりました。

私たちの食生活は自然の恩恵の上に成り立っており、食に関わる人々の様々な活動に支えられています。国民一人ひとりが食育の推進に向け協働していくことがますます重要になっていくと感じています。

今大会のテーマは、「食がつなぐ人と未来～健康寿命日本一の富士の国やまなしから全国へ～」です。今年度の食育白書においても健康寿命の延伸を特集しており、食育活動が日々の食生活につながっていくことが重要と考えています。今大会で様々な体験をしていただき、明日の食生活に生かしていただきたいと思います。

また、この度、全国各地で食育の推進に顕著な実績を挙げられた方々を表彰する表彰式も行います。全国から多くの応募をいただき、その中から選ばれた方々に受賞のお祝いを申し述べると共に、今後も活動を続けていただきたいと思います。

最後に今大会の開催にご尽力いただいた大会実行委員会をはじめ山梨県および甲府市の関係者の方々に心からお礼申し上げますと共に、2日間にわたる大会が成功をおさめ、全国各地で食育がますます推進されることを祈念いたしまして、私のご挨拶とさせていただきます。



【主催者挨拶】
山梨県知事 長崎 幸太郎

<概要>

本日はようこそ山梨県へお越しくださいました。皆さまのお越しを心より歓迎申し上げます。本県は、世界遺産富士山を擁する富士の国であり、また、健康寿命が男女とも日本一の県です。山梨県におきましては、県民の皆さまが生涯を通じて心身共に健康で生き生きと暮らしていくために、食に関する正しい知識と理解を深め、生涯にわたって健全な食生活の実現ができるように、食育県民運動を熱心に、積極的に推進しております。中でも特色ある郷土食を「やまなしの食」として認定するなど、山梨県の食文化を次世代へ継承すると共に、地域の活性化につながる取組を積極的に推進しているところです。

今日から2日間、本大会を通じて、「やまなしの食」の魅力为全国の皆さまに余すところなくお伝えしていきたいと考えております。また、食育に関する様々なテーマについて、じっくりかつ楽しく学び合うことができる有意義な機会となるよう期待しています。

結びに、本大会の開催にあたりご尽力いただいた関係者の皆さまに心から感謝を申し上げ、お集まりの皆さまのますますのご健勝ご多幸を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。



甲府市長 樋口 雄一

<概要>

本日は全国各地からここ山梨県甲府市にようこそお越しくださいました。心から歓迎を申し上げます。本市では本年3月に策定した第3次食育推進計画におきまして、心身の健康増進と豊かな人間形成を目指し、食料の生産から消費、さらには廃棄に至るまでの過程を、武田信玄公の軍旗に書かれている風林火山になぞらえ、整理をし、食育の推進に取り組んでいるところです。また、本大会では健康長寿日本一の一翼を担う様々な食育の取組の紹介や、体験を行うブースを設けていますので、ぜひお立ち寄りいただければ幸いです。

本大会は食がつなぐ人と未来をテーマに掲げており、あらゆる世代の方々が食育を楽しく学び、体験し、食育への理解を深めていただくとともに、幅広い分野の方々が交流を深める機会としていただけると、本市としても大変ありがたく存じます。

結びに、本大会の開催にあたり、ご尽力いただいた全ての関係者の皆さまに心から感謝を申し上げますと共に、本日ご参加の皆さまのますますのご健勝ご多幸を心から祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。



【来賓祝辞】（敬称略）
参議院議員 山東 昭子

<概要>

毎年6月に楽しみにしている食育推進全国大会。関係の皆さま方によって、このように賑やかに開催され本当にうれしく思っています。また、長い間食育活動に取り組み、本日表彰される方々、おめでとうございます。

食育基本法が策定され14年。食育という言葉がだいぶ浸透してきました。これから人生100年時代を向かえ、これからの食育の中で大切にしていきたいのは減塩運動。これが一番のことではないかと思えます。40兆円を越す医療費の増大、これを少しでもなくすためにはバランスの良い食生活、その中でも減塩は大切ではないかと思えます。

なお一層皆さま方の活動をこれからもお願い申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。



【来賓紹介】（敬称略）



- 衆議院議員 中谷 真一
- 衆議院議員 宮川 典子
- 衆議院議員 堀内 詔子
- 衆議院議員 中島 克仁
- 参議院議員 森屋 宏
- 参議院議員 宮沢 由佳
- ※代理：秘書 山根 睦弘
- 山梨県議会議長 大柴 邦彦
- 甲府市議会議長 金丸 三郎
- 食育推進評価専門委員会座長 服部 幸應
- 食育活動表彰審査委員長 中嶋 康博

【第3回食育推進活動表彰 表彰式】

農林水産省はボランティア活動、教育活動、農林漁業、食品製造・販売等その他の事業活動を通じた食育関係者の取組を対象として、その功績を称えるとともに、その取組の内容を広く国民に周知し、食育を推進する優れた取組が全国に展開されていくことを目的として、食育活動表彰を実施しています。

今年度は応募のありました個人・団体のうち、特に優れていた7組に農林水産大臣賞、14組に消費・安全局長賞を授与しました。

<受賞団体・受賞者>

○農林水産大臣賞

- ・洋野町食生活改善推進員協議会
- ・おかず味噌汁健やか力向上委員会
(公立大学法人 青森県立保健大学)
- ・山梨県立ひばりが丘高等学校 うどん部
- ・気まぐれ八百屋だんだん
- ・有限会社蔵王マウンテンファーム
- ・大阪いずみ市民生活協同組合
- ・元気さばえ食育推進会議

○消費・安全局長賞

- ・浜田市食生活改善推進協議会
- ・北九州市八幡西区食生活改善推進員協議会
- ・薬膳・食育ボランティア部 (中村学園大学)
- ・石川県立看護大学 垣花渉ゼミ
- ・特定非営利活動法人 食育ママ
- ・大府市健康づくり食育推進協議会
- ・山梨学院短期大学
- ・学校法人睦美学園 睦美幼稚園
- ・読谷村漁業協同組合
- ・大分農業文化公園
- ・株式会社ウオロク
- ・神奈川・食育をすすめる会
- ・東松島市食育推進協議会
- ・平戸市食育推進会議



【食育活動表彰講評】

食育活動表彰 審査委員長 中嶋 康博

<概要>

審査委員長の中嶋でございます。第3回食育活動表彰では個人・団体の皆さまから189件の応募をいただきました。それをもとに7件の農林水産大臣賞、14件の消費・安全局長賞を選定させていただきました。改めて受賞された皆さま、心よりお喜び申し上げます。

審査委員会では審査基準に基づき、先進性、継続性、有効性、波及性、そして、実践性の、5つの観点から評価を行いました。また、第3次食育推進基本計画で掲げられた5つの重点課題、若い世代を対象にする、多様な暮らしへの対応をする、健康寿命の延伸、食の循環や環境への意識、そして、食文化の継承といった課題に取り組んでいるかを詳しく見させていただきました。これらの活動においては、それぞれの皆さまの本来業務、例えば教育機関としての授業プログラム、管理栄養士等の養成機関としての通常作業などを超えたものかを確認させていただきながら、応募の活動内容が食育の観点から特別に評価できるものかどうか、審査委員で熟慮を重ねて審査を行った次第でございます。本年は地域住民や学生の皆さんが自らの食と健康、そして環境を共に考え、共に行動する、堅実かつ誠実な取組が数多くございました。また、食を提供する担い手の方々との交流や、現地での体験を通じて、食べ物の大切さ、命の尊さに気づいていく活動、地元の食を発見し、その宝を皆さまと共有する活動、食を通じて人々が集い、お互いのつながりを実感する活動など、現代が直面する課題に向き合っ、それを解決する魅力的で挑戦的な活動を表彰することができたと思っております。それらはいずれも第3次食育推進基本計画で挙げた5つの重点課題で取り組んでおり、食育活動の着実な進展に貢献するものとして高く評価された次第です。

今回、残念ながら選外となられた個人、団体、企業等におかれましても、今後の発展が期待できる興味深い取組や特徴的な取組が数多くございました。表彰された取組を参考にさせていただきながら、今後もさらなる食育活動を推進し、来年度もご応募いただきますことを切に希望いたします。

最後にこの表彰が国民や社会への食育の推進の大きな契機になることを祈念いたしまして、私からの講評とさせていただきます。受賞者の皆さま、本日は本当におめでとうございます。

